

## スペクトラムアナライザの飽和による誤測定を防ぐ方法

◇スペアナでの、測定する周波数帯域外の強いパワーの信号入力での飽和による誤測定を防ぐ方法をご紹介します。

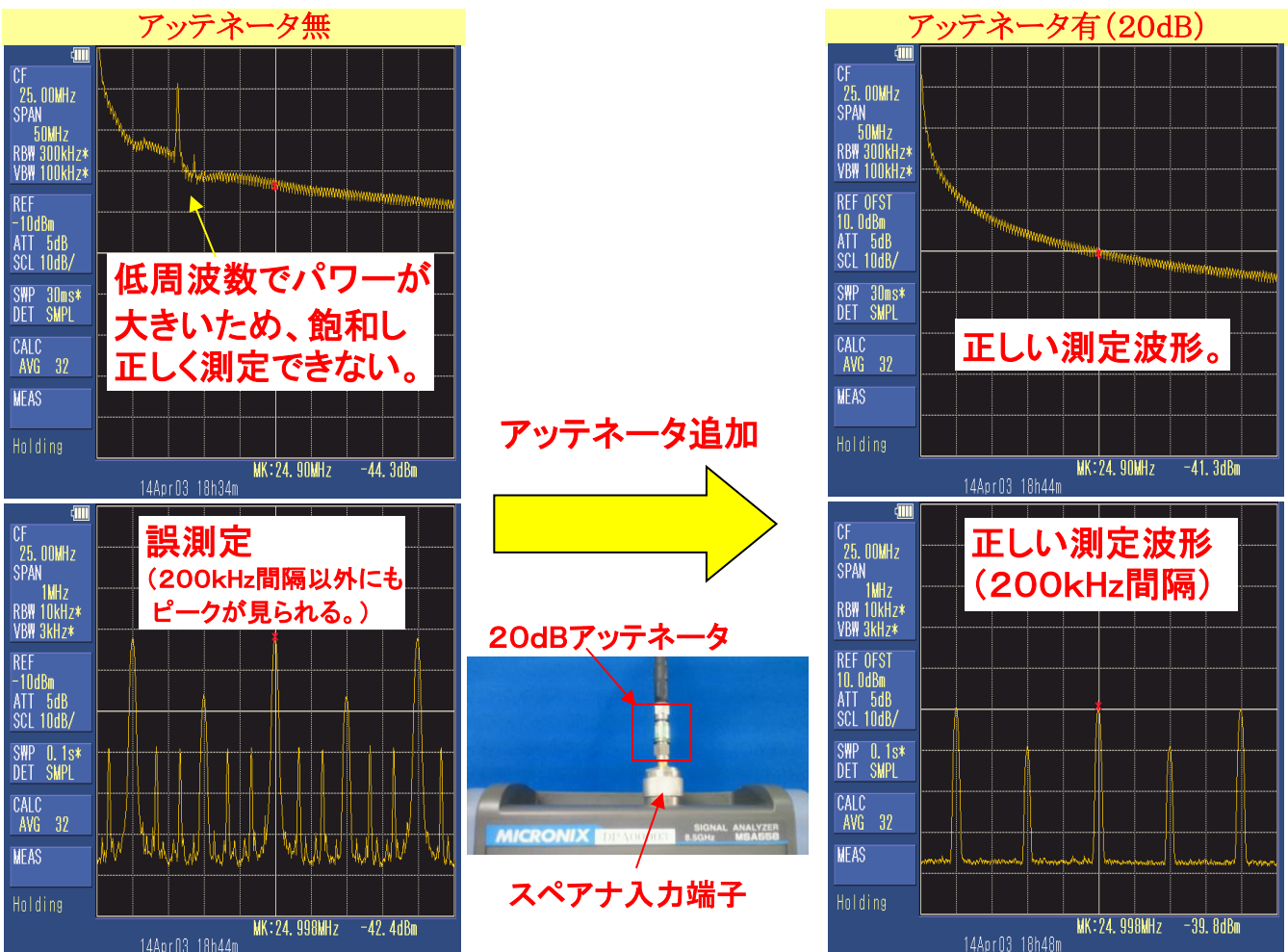
### [アプリケーション ~\*Application\*~]

スペアナは1stミキサの入力に適切なレベル以上の信号が加えられると飽和により高調波ひずみやスプリアスが発生し正しい測定が行えなくなります。測定する周波数帯域外の信号であっても、それが適切なレベル以上であった場合、誤測定となります。

### [ソリューション ~\*Solution\*~]

スペアナの入力にアッテネータやフィルタを挿入することによって、1stミキサの飽和を防ぐことができます。

コムジェネレータ(周波数の増加に対して単調にパワーが減少)の200kHz間隔の信号をアッテネータ有無で測定した結果です。



※スペアナの入力にハイパスフィルタを挿入しても同等な結果が得られます。

### [システム構成・価格 ~\*System constitution & Price\*~]

シグナルアナライザ (MSA500シリーズ)、スペクトラムアナライザ (MSA400シリーズ)	×1	¥498,000～
アッテネータ、フィルタなど	×1	別途ご相談ください

※詳細は弊社営業担当までお問合せ下さい。

※仕様・形状は、事前の断りなしに変更されることがあります。

2023/4 Rev.1